



## かみのこどもは すべての もんだいにかつ ちからが あります

出 12:13 あなたがたのいる家々の血は、あなたがたのためにしるしとなる。わたしはその血を見て、あなたがたの所を通り越そう。わたしがエジプトの地を打つとき、あなたがたには滅びのわざわいは起こらない。

### 3 Today

きょうのいのり

エジプトという名前と呼ばれている国は、430年間イスラエルを奴隷とした強 大 国 でした。そのようなイスラエルが神様の正確な計画で出エジプトした事件が起きました。のろいと勝つ血のいけにえの奥義を知っていたレビ人を通してなされたことでした。モーセという子孫に契約が伝えられたからです。

モーセがイスラエルの民たちとともに出エジプトをするために、エジプトのパロ王の前に行きました。血のいけにえをささげに行くという話をするためにでした。ところが、パロ王は、このことばを理解できなくて、かえって心をもっとかたくなになってしまいました。このとき、神様が10の災いを起こされました。エジプトには、死の危機でしたが、モーセとイスラエルの民には、完ぺきな神様の奇跡になりました。特に、長子の死は過越の血の契約を握った人々には出エジプトをする完ぺきな解放の日になりました。いっぽう、契約を知らない人には、死の日でした。そして、今までこの日を過越の祭りと呼ぶのです。

この力は、福音を持っているレムナントに同じように与えられた祝福です。すべての問題に勝つ力が入っている力であるからです。このようなレムナントがまわりに福音を伝えれば、その日に過越の奇跡と同じ体験をすることができます。この霊的な事業を覚えて、きょうを過越の祭りにする伝道の日にしましょう。

もくそうしよう

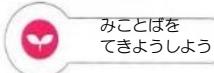
2016.03.20 インマヌエル聖日1部

定期祈りに成功したらチェックしよう

きょうのみことば

ダニエル 11

百二章  
神様のみことばを讀もう



エジプトの時代に、かもいと門柱に羊の血を塗った人たちだけが災いを受けずにすみました。神様はこの日を主の祭りとしてさだめて、守りなさいと言われました。きょうは、出エジプト12章のみことばを読んで、のろいと災いに勝つ血の契約について考えてみましょう。



おいのり しよう

父なる神様！私をモーセのように、召してくださいありがとうございます。神様を知らない人々に福音を伝える伝道者の生活が回復しますように。きょうが私の過越の祭りになりますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



## 2 しゅるいの ひと

出 14:13~14 それでモーセは民に言った。「恐れてはいけない。しっかり立って、きょう、あなたがたのために行なわれる主の救いを見なさい。あなたがたは、きょう見るエジプト人をもはや永久に見ることはできない。主があなたがたのために戦われる。あなたがたは黙っていなければならない。」

### 3

Today

きょうのいのり

「これは私の力では解決することはできない」と思うほどのむずかしい問題にであったことはありますか。そのような問題が起きれば、自分も知らない自分自身が出てくるものです。イスラエルの民がきびしい荒野の道をすぎて、カナンに行く間に、紅海という大きな問題にぶつかりました。そのとき、問題の前で2種類の人が出てきました。

ひとつの種類の人、モーセのように「黙って、主があなたがたのために行なわれる主の救いを見なさい」という信仰を告白する人でした。他の種類の人、恐れながら「エジプトには墓場がなく、ここで私たちを死なせるのか」と恨む人がいました。

レムナントは、問題が起きるとき、どんな告白をしますか。もしかして、問題だけを見て、神様の計画は思い出すことはできませんか。神の子どもであるレムナントは、きょうから、すべてのことには神様の絶対計画があるということを心に刻みましょう。そして、モーセのように信仰を告白するレムナントになりましょう!

2016.03.20 インマヌエル教会聖日2部

もくそうしよう



定刻祈りに成功したらチェックしよう

きょうのみことば

ダニエル 12

神様のみことばを讀もう

つぎ次のみことばを讀んで、( )に正しいことばをうめましょう

それでモーセは民に言った。

「( ) いけない。しっかり立って、

きょう、あなたがたのために行なわれる

( ) を見なさい。あなたがたは、

きょう見るエジプト人をもはや永久に見ることは

できない。( ) があなたがたのために

戦われる。あなたがたは黙っていなければ

ならない。」

おいのり  
しよう

父なる神様。私を罪とサタン力の下から救ってくださって、ありがとうございます。問題の前でも神様の計画を発見する知恵をくださって、信仰を告白したモーセのように、信仰の人になりますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



# てんめいを はっけんしよう

使徒1:1 テオピロよ。私は前の書で、イエスが行ない始め、教え始められたすべてのことについて書き、

## 3 Today

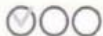
きょうのいのり

神様は、創造の前から、この世を造りながら、神の子どもであるレムナントを選ばれました。その多くの人中で神様が私をしっかりと握って、選ばれたのです。なぜ私を召されたのでしょうか。どんなに考えても分からないこの理由を発見することが、天命です。天命を発見しようとするなら、ただ一つのことを見れば良いのです。世の中に福音がなくて災いが臨んでいる事実です。その証拠が、聖書によく記録されています。

神様は、強大国を通して、福音が消えたイスラエルの民に災いに会うようにされました。いっぽう、天命を発見したひとりの人を通して国を回復させられました。天命を発見した初代教会の人々は、福音のために命と財産もみな出すことができました。3千人の伝道弟子がたてられる現場が変わる答えが来ました。神様は今でも災いを防ぐ証人になるひとりを探しておられます。神様が私にくださった天命を発見したレムナントになって、私を通じて時代の災いを防ぐ答えが起きるように祈りましょう。

2016. 03. 22 伝道弟子訓練メッセージ

もくそうしよう



定期祈りに成功したらチェックしよう

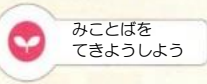
きょうのみことば

ダニエル 1、3

いちにいちのうら

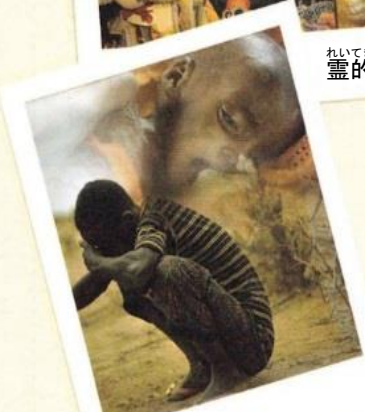
神様のみことばを眺もう

世界は、いま、目に見えない災いで、だんだん崩れていっています。下の写真を見て、なにが必要なのか考えてみましょう。



霊的災いに会っている時代

精神的災いに会っている時代



生活が崩れている時代

災いに会っている時代に

必ず必要なことは

それは ● ● ● が

● ● ● ● だという

てんめい 天命です

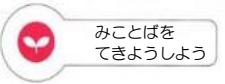
父なる神様！神様を離れて、災いに会っている時代に、私をこの世を生かすひとりとして呼んでくださってありがとうございます。私を通して、全世界が生かされる答えがおきますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



## しょうめいを はっけんしよう

使徒1:3 イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現われて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。

日記を書いて、私の一日を点検してみましょう。きょう私はだれに会って、どんな話をしたか、どんなみことばの成就を味わったのかを書いてみましょう。



タイトル

が 月

に 日



3 Today

きょうのいのり

Blank lined area for prayer.

きょうのでんどう

Blank lined area for devotion.

きょうのみことば

ダニエル 6、12

いちにちの 一日一章

神様のみことばを讀もう

レムナントは、「私は何のために生きているのか」と考えてみたことはありませんか。聖書のレムナント7人（ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロ）は、こういう質問とはっきりした答えを持って生きていた神様の人々でした。すなわち、召命を分かったということです。

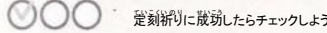
召命とは、私が生きなければならない理由を発見することです。一言で「神様の時刻表の中で、今日、私がいなければならない場所を見つけて行くこと」と言うことができます。それなら、召命はどのように発見することができるのでしょうか。みことばの流れに従って、今日、私に与えられたものをよくやり遂げることです。

聖書のレムナント7人以外にも、召命を持って信仰で勝利した人々がいました。ダニエルは、獅子の穴に、三人の青年（シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ）は、火の燃える炉という苦難を、神様の力で克服しました。また、新約時代には、初代教会の人々も同じでした。

神の子どもであるレムナントも、私に与えられたタラント、事件、出会い、できごと、すべてが神様が私に与えられた召命を発見する機会であるという事実を覚えましょう。そして、そこで召命を発見して味わうレムナントになりましょう。

もくそうしよう

2016.03.22 70 人要員訓練メッセージ



おいのり しよう

父なる神様！私を神の子どもとして召してください。ありがとうございます。みことばの流れに従って、きょうの出会い、事件、できごと、タラントを通して、召命を知って味わうことができますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



## 3つを たいけんしよう

ヨハネ 19:30 イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、「完了した」と言われた。そして、頭をたれて、霊をお渡しになった。

カルバリの丘で十字架にかかれたイエス様が、最後の一言を叫んで息をひきとられました。「完了した」ということばでした。イエス様のこの叫びは、創世記3章で起きた事件によって、罪を犯すようになった人間と神様の間をふさいでいた、すべての垣根を崩したという意味が含まれています。

このような祝福を受けたレムナントは、神の子どもとして3つのことを必ず体験しなければなりません。最初に、イエス様がキリストとして来られて、十字架ですべての問題を解決されたというカルバリの丘の契約を堅く握りましょう。二つ目、私が行く所ごとにサタンが完全に縛られて神の国を味わえるように祈りましょう。三つ目、全世界に福音を伝えることができるまことの成功者になるように、神様がくださる聖霊に満たされる力を受ける契約を握ることです。

今日からこの三つを体験することができるように、祈りの課題として挑戦してみよう。

2016. 03. 26 核心訓練メッセージ

もくそうしよう

○○○ 定期祈りに成功したらチェックしよう

3 Today

きょうのいのり

---

きょうのでんどう

---

きょうのみことば

ホセア 1

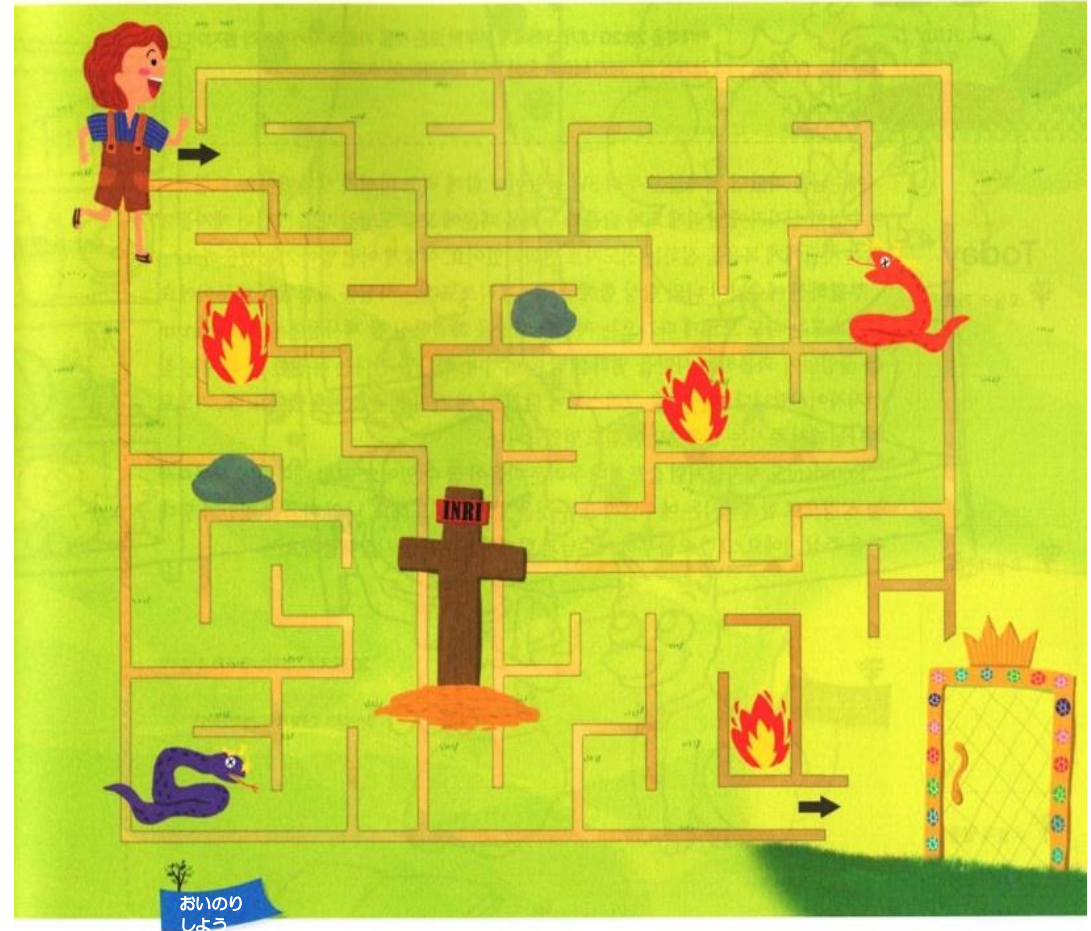
一日一章

神様のみことばを読もう

## めいろ

神様がくださる力！聖霊の満たしを受ければ、世の中を生かす力を持つようになります。

くねくね、めいろを通りながら、神様がレムナントにくださる、この世を生かす力を考えてみましょう。



父なる神様！カルバリの丘、神の国、聖霊の満たしを正確に知って、信じて、体験することができますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



# イエスさまの ふっかつを みた ひとたち

マタイ 28:20 また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。

### 3 Today

きょうのいのり

イエス様に従った弟子たちは、なんと3年間もいっしょに飲み食いしながら生活しました。それでもイエス様が十字架にかかるようになったとき、悲しみと恐れのために、みんな逃げました。そのような弟子たちが多くの人に福音を伝える伝道者として変化しました。どうして、そんなことができたのでしょうか。

復活されたイエス様が私といつもともにおられるキリストだという事実を体験したためです。キリストは、私も知らないうちに近づいてくるのろいと災いを解決された、まことの祭司です。レムナントを絶えず困らせるサタンを打ち砕かれたまことの主で、神様に会う唯一の道であるまことの預言者だと言われます。弟子たちは、キリストに含まれたこの三つの奥義を体験しました。また、祈りで神様がくださる聖霊に満たされる力も受けたのです。

レムナントも、弟子たちのように、悲しかったり恐ろしかったりすることがあります。そのたびに、復活していつも聖霊で私とともにおられるイエス様に、すべてを任せ祈りましょう。私の心に平安と大胆さをくださるでしょう。それなら、今日からイエス様といっしょにいる祈りを始めてみましょうか。

2016.03.27 インマヌエル教会聖日1部

もくそうしよう



定期祈りに成功したらチェックしよう

きょうのみことば

ホセア 2

神様のみことばを讀もう

### いろいろ

私の罪をすべてゆるしてくださいるために、十字架で死んで、復活してくださったイエス様！  
イエス様の愛を考えて、祈る心で色をぬりましょう。



おいのりしよう

父なる神様！復活されたイエス様が、私とともにいてくださって、すべての恐れと悲しみを解決して下さることを感謝します。イエス様がくださる力で勝利できますように。  
イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン